

<国際社会学科地域児童教育専攻>（認定課程：幼一種免）

（１）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1 年次	前期	・幼稚園教育要領における幼稚園の基本、各領域のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。 ・各領域のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。 ・幼稚園教育における評価の考え方を理解している。 ・領域ごとに幼児が経験し、身に付けていく内容の関連性や小学校教科等とのつながりを理解している。 ・遊びを通しての総合的な指導の意義と教師の役割について説明できる。 ・教員としての必要な教養や基礎技能を身に付けている。 ・ピアノの基礎的知識・技能を身に付け、音楽表現をすることができる。
	後期	・教員としての必要な教養や基礎技能を身に付けている。 ・実技向上に向け主体的に練習を行い、レパートリーの獲得を図ることができる。 ・様々な実技を通して実践力を高めるとともに幼児への指導方法を理解している。
2 年次	前期	・幼児の認識・思考・動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。 ・各領域の特性や幼児の体験と関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。 ・指導案の構成を理解し、具体的な保育を構想した指導案を作成することができる。 ・模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。 ・各領域の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。 ・教育の思想や歴史的変遷、教育制度について学び、教育の基本的概念を身に付けている。 ・乳幼児期から青年期の各時期における発達について、その具体的な内容を理解している。 ・教育実習生として、遵守すべき義務等について理解するとともに、その責任を自覚したうえで意欲的に教育実習に参加することができる。 ・不安や悩みを抱えた子どもや保育者に寄り添うための教育相談の意義や目的が説明できる。
	後期	・教職の意義、教員の役割、職務内容、社会的な動向と教育の関り及び教育制度について理解している。 ・幼児との関りを通して、その実態や課題を把握することができる。 ・育みたい資質・能力と幼児理解に基づいた評価の基礎的な考えを理解している。 ・子どもたちの興味・関心を高めたり学習内容を振り返ったりするために、幼児の体験と関連を考慮しながら情報機器を活用して効果的に教材等を作成・提示することができる。 ・幼児の遊び及び生活の実態に即した幼児理解の意義を理解している。
3 年次	前期	・教員に求められる基礎的な資質能力を理解している。 ・教育実習を通して得られた知識と経験を振り返り、習得することが必要な知識や技能等を理解している。 ・身体感覚を自覚的に把握し、基礎的な運動技能を獲得できる。 ・幼児理解や学びの振り返りに等、ICT を積極的に活用することができる。
	後期	・教育課程や全体的な計画の意義と役割、編成の方法を理解している。 ・インクルーシブ教育を含めた特別支援教育の理念や仕組みを理解している。 ・幼稚園教育要領及び幼児の実態等を踏まえた適切な指導案を作成し、保育を実践することができる。 ・様々な活動の場面で適切に幼児と関わるることができる。 ・教育実習の総括と自己評価を行い、課題解決に向けて取り組むことができる。 ・保育者として、幼児に楽しく変わりやすく運動を指導できる。
4 年次	前期	・幼児に関する理論や実践の場を通して、幼児やその教育に関わる理解を深める。 ・保護者や地域との連携を強化し、子どもの健全な成長を支える教育活動を実践することができる。
	後期	・保育に必要な基礎的技術を身に付けるとともに、幼児の体験との関連を考慮しながら適切な場面で情報機器を活用することができる。 ・将来の教師としての自己認識と自己形成力を深める。 ・幼児教育の最新の研究動向を理解し、幼児の心理や教育に関して一段と理解を深める。